

経営比較分析表（令和4年度決算）

福島県 郡山市

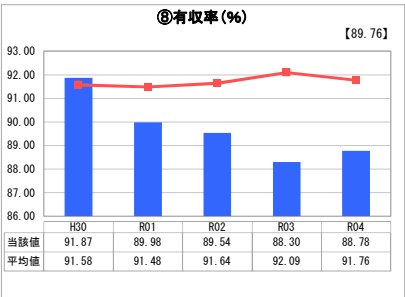
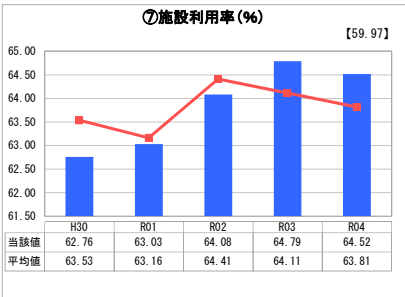
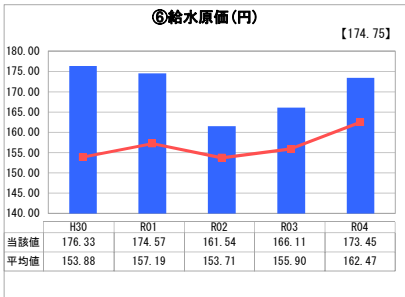
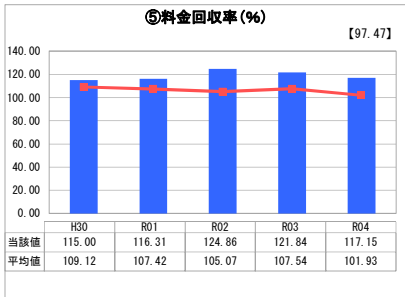
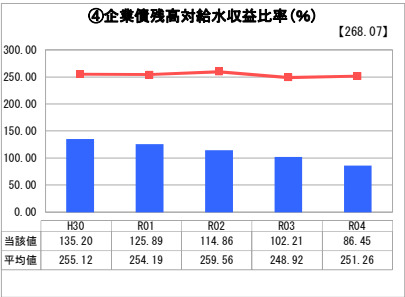
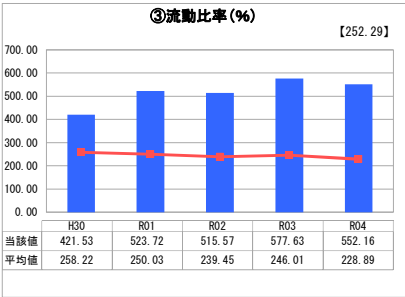
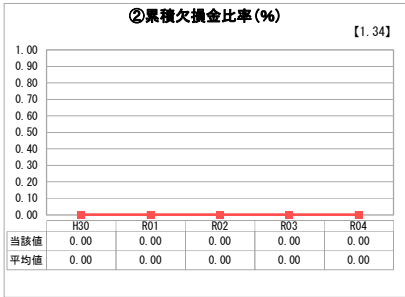
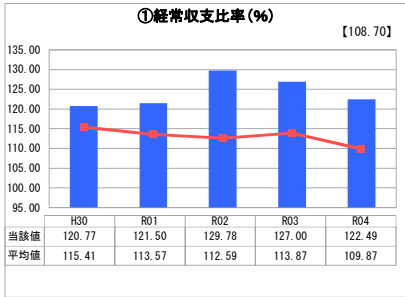
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	88.43	98.60	3,212	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
317,486	757.20	419.29
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
311,945	293.28	1,063.64

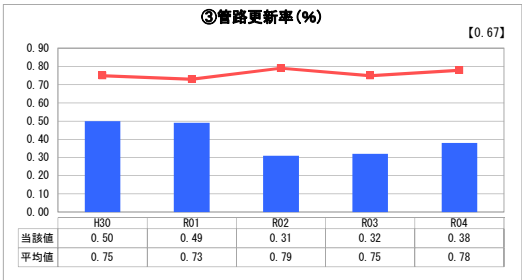
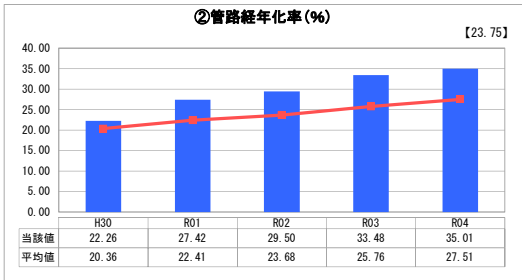
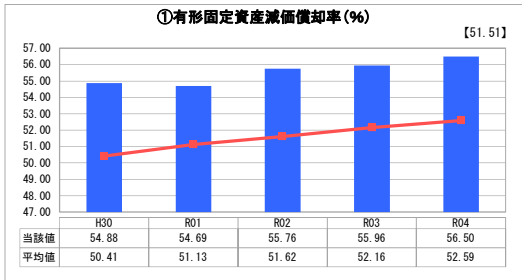
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率
前年度と比べ経常収益は横ばいであったが、経常費用が増加したため、経常収支比率は減少した。類似団体と比べ良好な水準にある。
③流動比率
流動資産は微減したが、流動負債は微増したため、流動比率は減少した。類似団体と比べ高く、良好な水準にある。
④企業債残高対給水収益比率
新たな企業債借入れをせず、順調に償還を行い減少傾向にあり、類似団体と比べ低く、良好な水準にある。
⑤料金回収率
前年と比べ経常費用が増加したため、給水原価が増加し料金回収率は減少した。類似団体と比べ良好な水準にある。
⑥給水原価
経常費用が増加したため給水原価は増加し、前年同様類似団体を上回っている。これは給水区域が広く地形の起伏が多いことから、より多くの給水コストを要するためと考えられ、ダウンサイジングを含め経営改善に努めていく必要がある。
⑦施設利用率⑧有収率
施設利用率は、配水量が横ばいであり、前年度と同水準にある。類似団体より高い水準で推移している。有収率は有収水量・総配水量ともに横ばいで、前年度と同水準である。類似団体と比べ低い傾向にあり、有収率向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
償却費の増加割合が更新費の増加割合を上回るため、償却率は微増した。類似団体と比べ高い水準にある。
②管路経年化率
昭和40年代から昭和50年代に整備した多くの管路が法定年数を超えるため、今後とも上昇傾向にある。類似団体と比べても、高い水準にある。
③管路更新率
基幹管路を優先的に更新しているため管路更新延長が伸びず、類似団体と比べ低い水準にある。
耐用年数だけでなく、A1を活用し、真に老朽化した管路を見極め、効率的に更新を行うことが重要である。

全体総括

現在の経営状況については、概ね健全な状況にあると考えられる。今後は、人口減少・世帯構成の変化などの社会動態の変動や、節水型社会への移行による水需要の減少が予想される中、施設の老朽化の進行に伴い、施設の更新需要が増大していく。
このことから、今後もアセットマネジメント手法による長寿命化、事業の平準化及び予防保全型維持管理による維持管理費用の縮減を図りながら、将来の水需要に見合った施設の統廃合（ダウンサイジング）や性能の合理化（スเปックダウン）等により、効率的・効果的な更新・修繕を計画的に推進するなどの経営に努め、健全性を確保していく必要がある。

経営比較分析表（令和4年度決算）

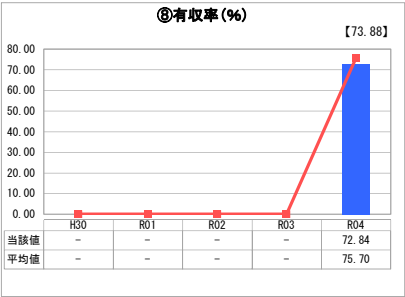
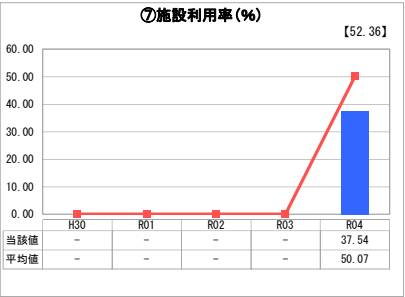
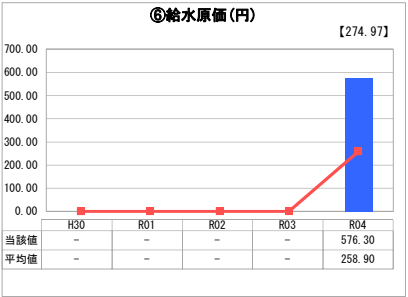
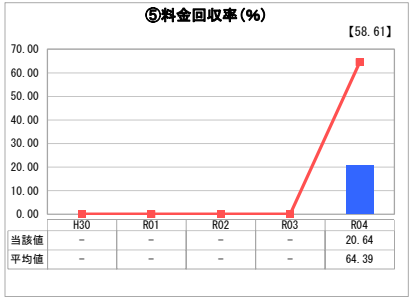
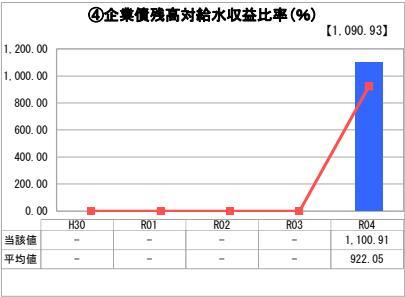
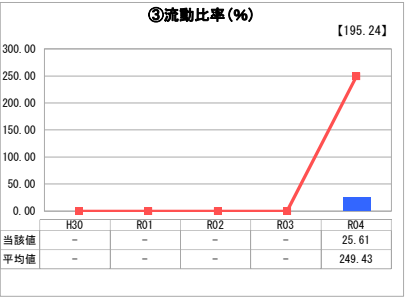
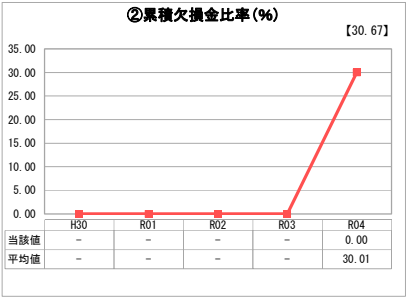
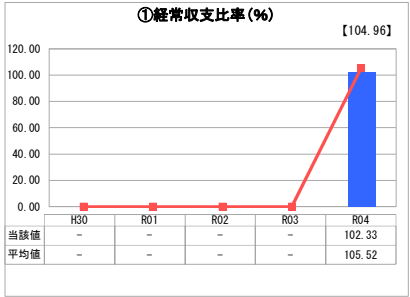
福島県 郡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	76.90	0.87	2,013	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
317,486	757.20	419.29
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,738	191.22	14.32

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損比率、③流動比率
経常収支比率は、一般会計からの繰入金により100%台で推移している。不足分は一般会計繰入金によって補填しているため、余剰資金を持たないことから流動資産はなく、流動比率は0である。また、欠損金は生じていない。

④企業債残高対給水収益比率
企業債残高はピーク時より大幅に減少しているものの、収益額が低いため、類似団体と比較して依然高い比率となっている。給水収益の改善のため、水道料金の改定を令和13年までに3回に分けて実施予定であり、1回目の値上げは令和4年に実施済みである。料金収入の増加によって、比率は減少する見込みである。

⑤料金回収率
料金回収率は横ばいで推移しており、類似団体と比較して依然低い数値となっている。給水原価に対して供給単価が非常に低い割合であり、水道料金の改定を令和13年までに3回に分けて実施予定であるため、今後は回収率の増加が見込まれている。

⑥給水原価
人口密度が低いため、建設投資の効率が悪く、原価は類似団体平均値よりも高い数値となっている。今後は、更なる費用削減に向けた取組みが必要である。

⑦施設利用率
人口減少に伴い、一日の平均配水量も併せて減少傾向にあるが、大型連休や盆などの特定時期に配水量が増加することもあるため、現時点で施設の規模は現状維持とするが、施設を更新する際には、利用状況等を踏まえ、適正な規模を検討していく。

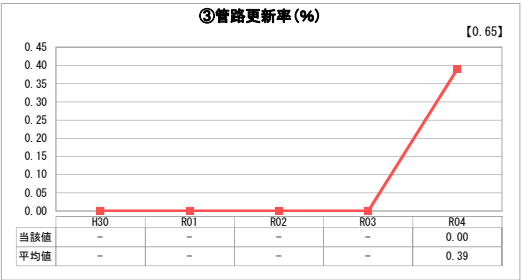
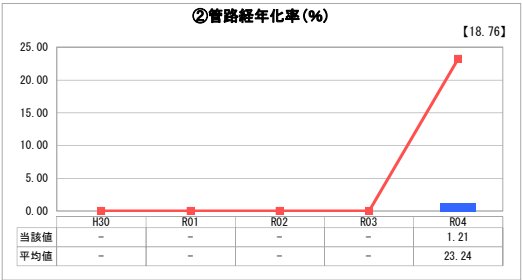
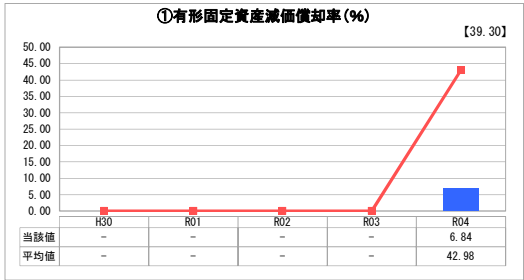
⑧有収率
類似団体の平均値よりも低く、不明水対策も含めた有収率向上策を検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
比較的施設が新しいため、償却率は類似団体の平均と比べると低い水準である。

②管路経年化率
管路は平成5年度以降に設置したものが多く、管路経年化率は低い水準であることから、直近での管路更新は要しないが、将来的には、中長期の経営見通しを踏まえた適切な投資により計画的に更新を実施する必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和4年度から13年度にかけて3回に渡り料金値上げを行い、経営改善を図る。また、老朽化等による施設の更新は今後の経営状況を踏まえ、計画的に実施していく。

令和4年度から地方公営企業法を適用したことで、資産・負債等のストック情報の的確な把握が可能となったことから、経営基盤の強化と財務マネジメントの向上を図っていく。

今後は、料金改定と法適用の一体的な実施により経営状況の改善を図り、「安全な水道水の安定した供給」を将来にわたり持続可能なものとしていく。

経営比較分析表（令和4年度決算）

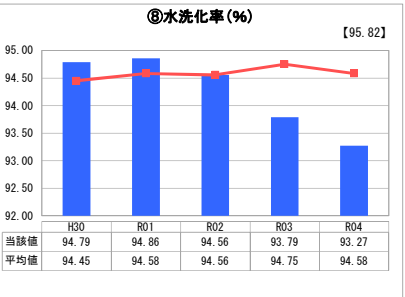
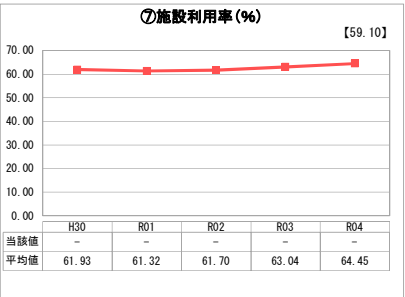
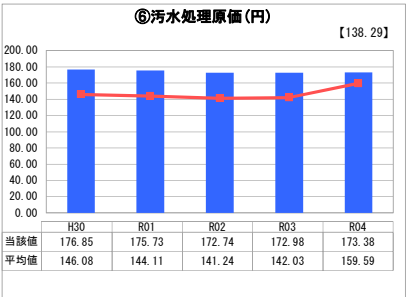
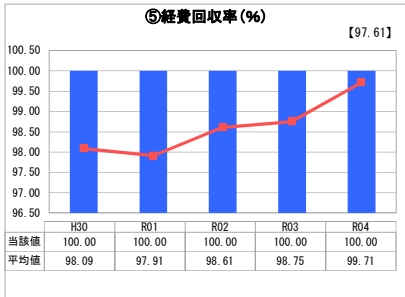
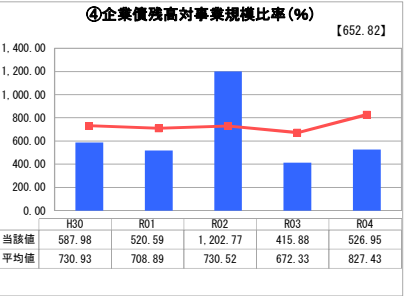
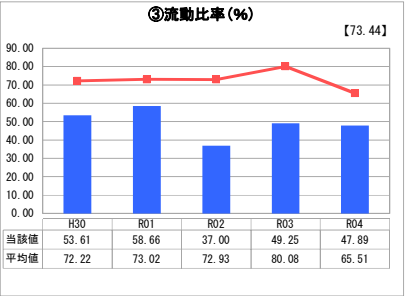
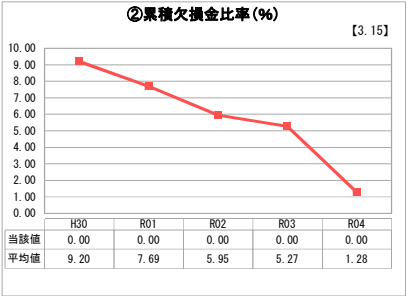
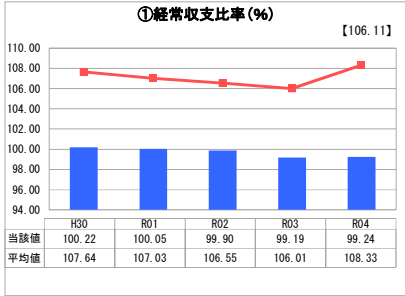
福島県 郡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	57.95	74.36	79.32	3,066

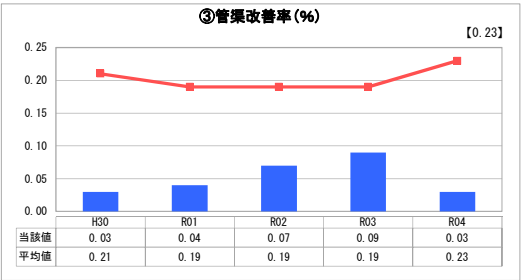
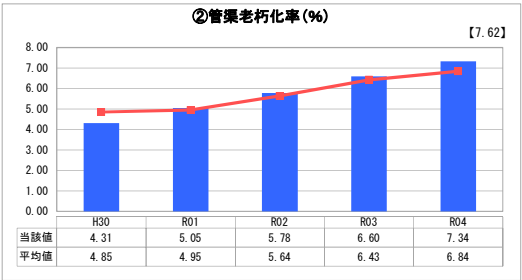
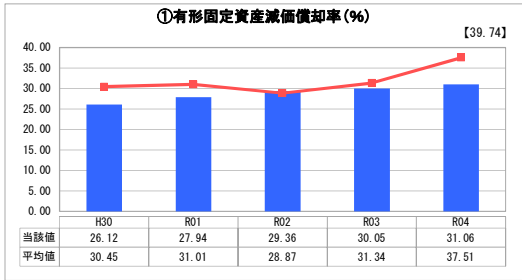
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
317,486	757.20	419.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
235,267	47.18	4,986.58

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率、③流動比率
経常収支比率は、基準内繰入金によって収支を均衡しているため、100%の水準である。流動資産、流動負債共に横ばいであり、流動比率も横ばい。
④企業債残高対事業規模比率
企業債残高は減少しているが、一般会計負担額の減少率が大きいので、比率は増加した。類似団体と比べ低い水準にある。
⑤経費回収率
不足分を基準内繰入金で補填していることから、基準内繰入金であるため、経費回収率は100%であり、類似団体と比べ同水準にある。
⑥汚水処理原価
不足分を基準内繰入金で補填していることから、汚水処理原価は使用料収入に影響を受ける。類似団体と比べ高い水準である。
⑦施設利用率、⑧水洗化率
公共下水道では、処理場を持っておらず、県中浄化センターで処理している。水洗便所設置済人口は微減したが、新規面整備により処理区域内人口は微増したため、水洗化率は微減し、類似団体の平均をやや下回る水準である。
人口減による使用料の減少が見込まれる中、自立した経営に向け、未接続世帯への普及啓発活動をより一層強化することなどにより使用料の確保に努めるとともに、経費節減に取り組み、経営の改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
新設や改築の費用が減価償却費を下回るため、増加傾向にある。類似団体の平均値を下回る水準である。
②管渠老朽化率、③管渠改善率
法定耐用年数を超える管渠が増加傾向にあるため、今後も老朽化率は高くなる傾向にあり、類似団体の平均をやや上回る水準である。
また、改善管渠延長の減少により管渠改善率は減少し、類似団体と比べ低い水準にある。
今後増加する更新需要に備え、老朽施設の増加に留意し、管渠改善率の向上を図っていく必要がある。

全体総括

一般会計繰入金により欠損金は発生しておらず、経費回収率は100%を満たしており良好である。今後は、人口減少等による社会動態の変化を的確に捉え、使用料や有収水量の確保に向け効果的な普及啓発活動について研究し実施していくとともに、民間委託の拡大や施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減等により、経営の改善を図っていく必要がある。
また、建設開始後50年を経過している管渠が増加傾向であるため、予防保全の観点から管渠の状態を適時調査・確認し、計画的な修繕を行うとともに、施設の更新については、ストックマネジメント計画に基づき長寿命化による投資の平準化の推進が必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和4年度決算）

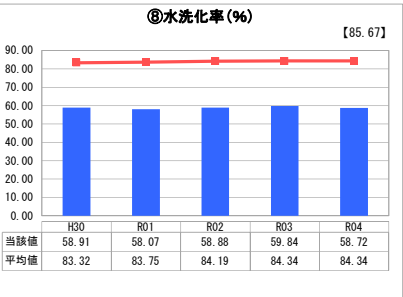
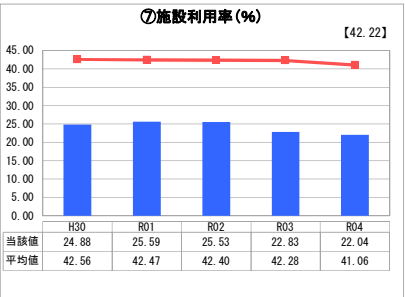
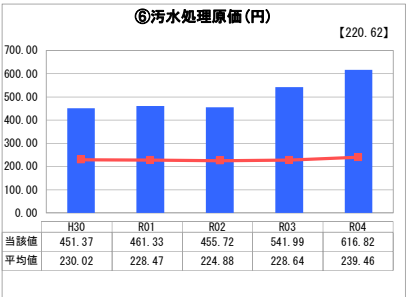
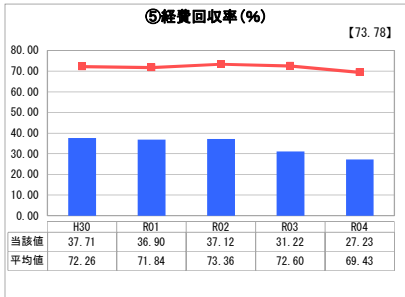
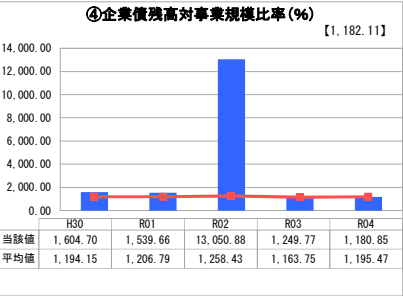
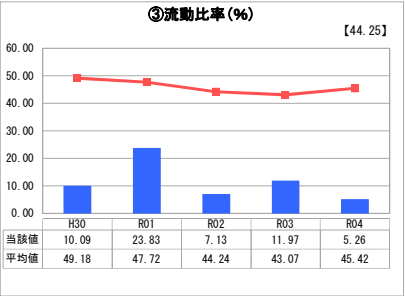
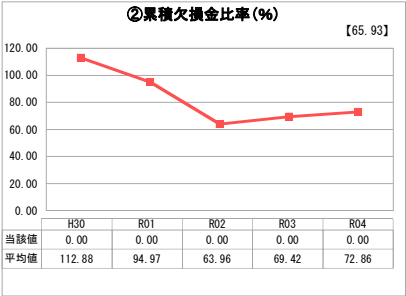
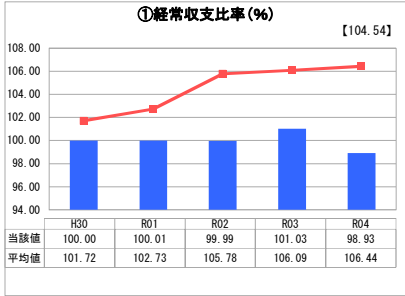
福島県 郡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	52.40	0.76	101.75	3,066

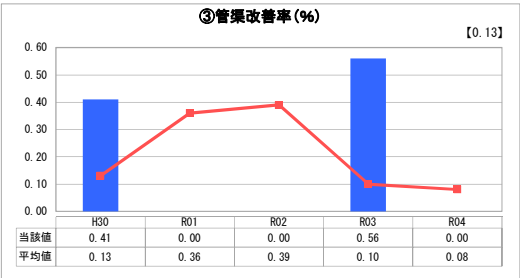
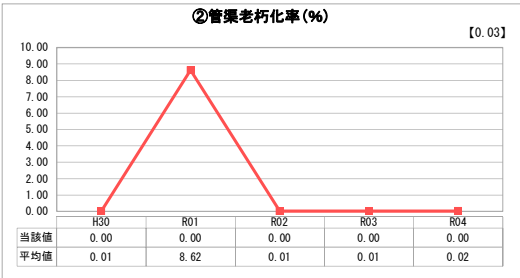
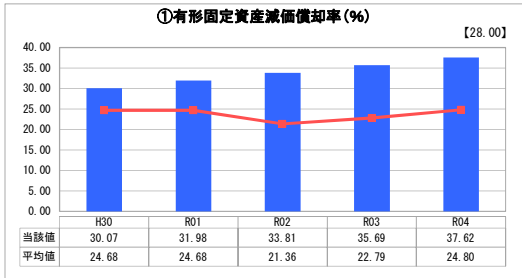
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
317,486	757.20	419.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,391	1.56	1,532.69

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率、③流動比率
経常収支比率は、一般会計からの繰入金により100%で推移している。不足分は一般会計繰入金によって補填しているため、流動比率は低い水準にあり、類似団体と比べても低い。また、欠損金は生じていない。
④企業債残高対事業規模比率
企業債残高は毎年減少しており、類似団体とほぼ同水準にある。
⑤経費回収率
汚水処理サービスを市内同一の使用料体系としており、この使用料水準では、維持管理費を使用料収入で賄うことができないため、経費回収率は100%に満たない。類似団体と比べ低い水準にある。
⑥汚水処理原価
維持管理費の増に伴い汚水処理費が増加し、有収水量は減少したため、汚水処理原価は増加した。類似団体と比べ高い水準にある。
⑦施設利用率、⑧水洗化率
人口減少により水洗化人口が減少しているため、平均処理水量が減少しているため、施設利用率は減少し、類似団体と比べ低い水準にある。

人口減による使用料の減少が見込まれる中、自立した経営に向け、未接続世帯への普及啓発活動をより一層強化することなどにより使用料の確保に努めるとともに、経費節減に取り組み、経営の改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
増加傾向にあり、類似団体と比較すると高い水準である。
②管渠老朽化率、③管渠改善率
法定耐用年数を超えた管渠はなく、管渠改善も突発的な修繕等への対応である。

今後の更新需要に備え、適時、適切な調査等を行っていく必要がある。

全体総括

一般会計繰入金により欠損金は発生していないものの、汚水処理費を使用料で回収できていない状況を踏まえ、経費節減に努めるとともに、使用料や有収水量の確保に向け、効果的な普及啓発活動について研究実施していくことで、経営の改善を図っていく必要がある。
特に、水洗化率は横ばい傾向が続く50%台と低いことから、人口減少や高齢化の進行が早い当該地区の実情に配慮したきめ細やかな普及啓発活動が必要となる。
また、管渠を含めた資産の老朽化度合は低い状態ではある。今後は予防保全の観点から状態を適時調査・確認し、計画的な修繕を行うとともに、施設の更新については、ストックマネジメント計画に基づき長寿化による投資の平準化の推進が必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和4年度決算）

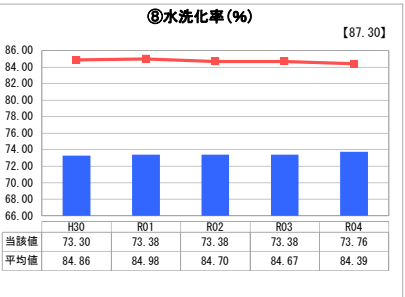
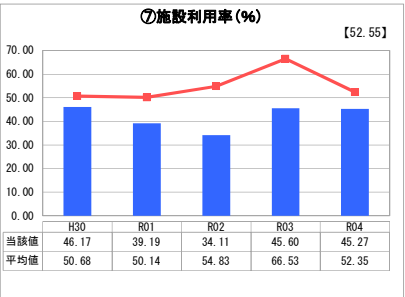
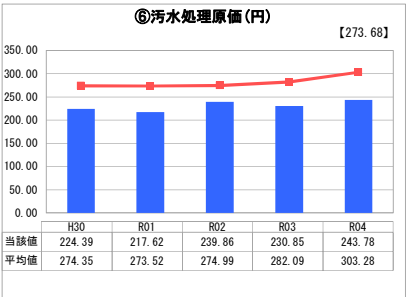
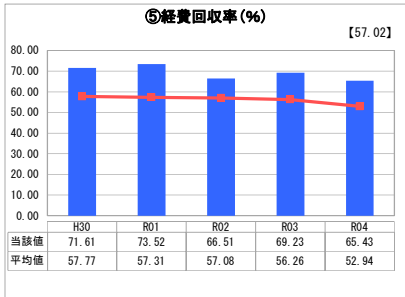
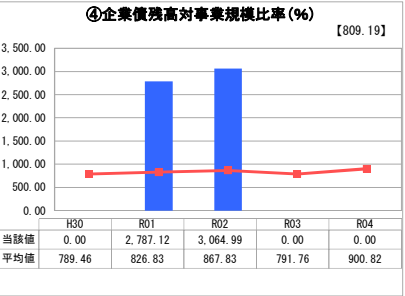
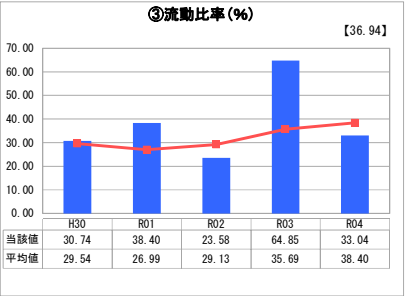
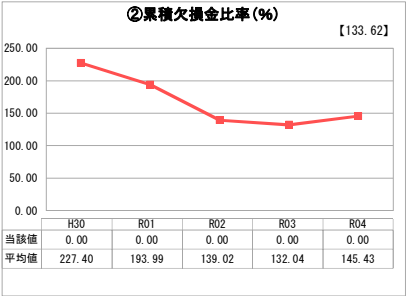
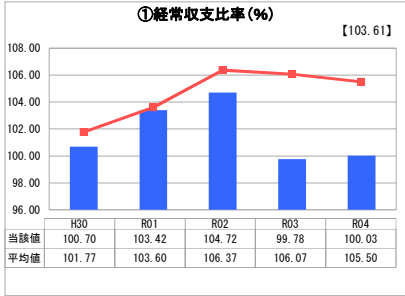
福島県 郡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.35	3.62	96.30	3,066

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
317,486	757.20	419.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,456	15.22	752.69

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

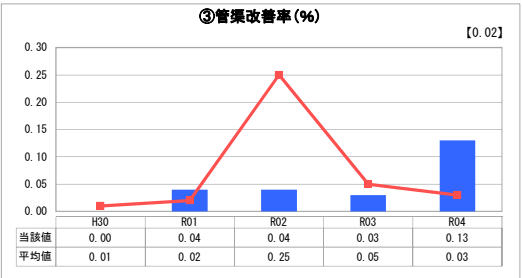
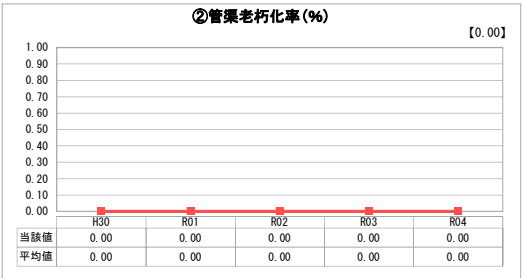
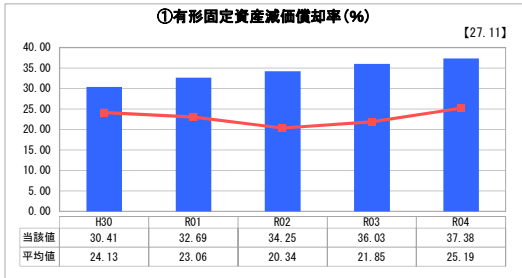
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率、③流動比率
経常収支比率は、一般会計の繰入により100%で推移している。不足分を一般会計繰入金によって補填しているため、流動比率は低い水準である。なお、欠損金は生じていない。
④企業債残高対事業規模比率
企業債残高と一般会計の負担額が同額のため、比率は0%である。
⑤経費回収率
汚水処理サービスを市内同一の使用料体系としており、この使用料水準では、維持管理費を使用料収入で賄うことができないため、経費回収率は100%に満たないが、類似団体と比べるとやや上回る水準にある。
⑥汚水処理原価
汚水処理費は微増、有収水量は微減したため、汚水処理原価は増加した。類似団体と比べると低い水準にある。
⑦施設利用率、⑧水洗化率
類似団体と比べ施設利用率が低い水準にあるが、これは水洗化率が類似団体と比べて低いためだと考えられる。
人口減による使用料の減少が見込まれる中、自立した経営に向け、未接続世帯への普及啓発活動をより一層強化することなどにより使用料の確保に努めるとともに、経費節減に取り組み、経営の改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
更新費用よりも減価償却費の額が上回るため、増加傾向であり、類似団体と比べると高い水準である。
②管渠老朽化率、③管渠改善率
類似団体と同様、法定耐用年数を超えた管渠はなく、管渠改善も突発的な修繕等への対応である。
今後の更新需要に備え、適時、適切な調査等を行う必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

一般会計繰入金により欠損金は発生していないものの、汚水処理費を使用料で回収できていない状況を踏まえ、経費節減に努めるとともに、使用料や有収水量の確保に向け、効果的な普及啓発活動について研究実施していくことで、経営の改善を図っていく必要がある。
特に、水洗化率が70%台と低いことから、人口減少や高齢化の進行が早い当該地区の実情に配慮したきめ細やかな普及啓発活動が必要となる。
また、管渠を含めた資産の老朽化度合は低い状態ではある。今後は、予防保全の観点から状態を適時調査・確認し、計画的な修繕を行うとともに、施設の長寿命化や公共下水道への接続替え等の計画により、改築更新費及び維持管理費の削減を図っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。